

シラバス

授業科目	生体機能調節Ⅱ		
(英 文 名)	Regulation of Human Body FunctionⅡ		
担当教員	西尾廣昭 他		
単位数(期別)	△2(前)	対象学生	2P

■授業のねらい・概要■

ホメオスタシス(恒常性)の維持機構を個体レベルで理解するために、呼吸、体温、体液などの生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を修得する。【C8(1),(32),(5)】

■授業(学習)の到達目標■

1. 循環・呼吸系の調節機構、血糖の調節機構、体液の調節機構、体温の調節機構を説明できる。
2. ホルモンによる調節機構および生体ホメオスタシス維持機構のダイナミクスを説明できる。

■回数ごとの授業内容■

1. 生体機能調節機構の概説(西尾)
2. 生体ホメオスタシス維持機構(塩見)
3. ホルモンによる調節機構:分泌機構と作用機序(塩見)
4. 体温の調節機構(塩見)
5. 呼吸系の調節機構(1)中枢性および末梢性機構(塩見)
6. 呼吸系の調節機構(2)および組織におけるガス交換(塩見)
7. 体液の調節機構(1)生理的調節機構(土谷)
8. 体液の調節機構(2)尿の生成機構(土谷)
9. 体液の調節機構(3)尿量の調節機構(土谷)
10. 循環系の調節機構(1)造血の機構(西尾)
11. 循環系の調節機構(2)血液凝固・止血の機構(西尾)
12. 循環系の調節機構(3)抗血栓・線溶系の機構(西尾)
13. 循環系の調節機構(4)血圧の調節機構(西尾)
14. 血糖の調節機構(1)生理的調節機構(佐藤)
15. 血糖の調節機構(2)その異常と病態(佐藤)

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

教科書は指定しない。講義にはプリントを配布する。

■参 考 書■

「新生理学」 木幡邦彦 他、著 文光堂 ISBN4-8306-0221-X

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～金曜日:随時
----------------------------	------------